

1 文学者から見た都市

- 1) 都市化と都市への関心 2) 東京出身者と上京者の相違

2 森鷗外《1862～1922》——1884～88 ドイツ留学

- 1) 「市区改正論」1890 (国民の友) 1890 近心：遠心 リングシュトラーセ
2) 「日本家屋説自抄」1888 「市区改正ハ果タシテ衛生上ノ問題ニ非ザルカ」1889
日光・通風⇒家の高さ^②と街幅 道路・公園・緑地 ゾーニング 不良住宅除去
3) 「屋制新義」=建築規制 「長屋建築規制」86、東京 07 東京市建築条例廃案
都会の不健康 造家衛生 公選^③・空気、交通、堅牢、火の用心、美観、衛生

3 幸田露伴 (1867～1947) ——「一国の首都」1899

- 1) 首都=人間の頭部 他都市の模範 健全な頭脳
2) 都市への誇り 詩人小説家は都市を罪惡の巢、村落を天国？
3) 都府 自然の地盤の上に人間の情意 人民が都府を愛する施策が基本
4) 江戸っ子⇒誇り、面目、愛重 東京児と称して都市と自己を愛するもの少なし
5) 江戸の破壊 東京の建設への義務を怠る 自覚、首都への愛情
6) 東京の優勝者=寒微の士 地位を自覚せず、東京を愛重せず 劣者⇒卑屈、反抗
7) 首都 地理上の区画ではない 一国の先導——他市への影響
8) 都民=都府の所有者、個々の人間の光 清潔か不潔かは都民の心
9) 江戸荏土の民のみのものでない 東京に入りて長く住するもの 大海に入る水
10) 理想をもて 「純然極美」 「同分の見」 世界の東京
11) 「野の市」(消極感)にすべからず 自己中心主義 無意義の人間集会処
12) 施策①市政 ②市の区域 城と市 ③都市の無限の膨張と面積 ④市内と郊外
⑤施設配置 自由配置配置の抑制 80 ⑥教育 環境 幼稚園設置 徳育優先
⑦交通機関 道路舗装 車の厚さ⇒税率 87 鉄道 ⑧飲用水 水源地の清潔
⑧悪水排泄 暗渠 ⑨塵芥糞尿排除 朝夕掃除義務、馬車会社の負担、都府責任
⑨理髪業。共同浴場、飲食物 ⑩火災 町の鳶 準警官 ⑪警察 人民の愛敬
⑫盗賊 電信電話 ⑬公園 空気の代謝、精神癒す 逍遙を好む ⑭神祠 幼稚園
⑮寺院、墓地 ⑯魚、蔬菜市場 ⑰劇場 品格 ⑱寄席 ⑲遊び人 ⑳保甲制度
○娼妓・芸妓肌 遊郭 風呂屋 岡場所 をどり子

4 夏目漱石《1867～1916》1900～1903 イギリス留学

- 1) 父親は江戸時代の名主、新制度の区長 建築志望 ロンドン スラム
2) 傍観的 受動的 個人の内面性に注目 講演録

5 永井荷風 (1879～1959) 『日和下駄』——東京散策記

- 1) 斜めから見た都市、江戸文化の伝統、亡び去った文化への挽歌、新体制への怒り
2) ①淫祠 ②樹 ③地図 ④寺 ⑤路地 ⑦閑地 ⑧崖 ⑨坂 ⑩夕陽附富士遠望